

沼津市公共施設マネジメント計画

～市民サービスの最適化を目指して～



平成29年3月

沼津市

目 次

第1章 公共施設マネジメント計画策定の意義

1. 目的と背景	1
2. 計画の位置付け	2
3. 対象施設	3
4. 計画の期間	4

第2章 公共施設等を取り巻く現況と課題

1. 公共建築物	5
(1) 保有状況	5
(2) 老朽化の状況	7
(3) 中長期的な経費の見込み	8
2. インフラ施設	9
(1) 保有状況	9
(2) 老朽化の状況	10
(3) 中長期的な経費の見込み	10
3. 人口の見通し	11
4. 財政の見通し	12
(1) これまでの推移	12
(2) 今後の見通し	12
5. 課題の整理	13

第3章 基本方針

1. 基本原則	14
2. 取り組みの視点	15
3. 取り組みの手法	16
(1) 新規抑制	17
(2) 統廃合	17
(3) 複合化・多機能化	18
(4) 代替サービスの提供	19
(5) 広域連携	19
(6) 公民連携	20
(7) 受益者負担の適正化	20
(8) 適切な維持管理	21
(9) 長寿命化	21
(10) 高性能化	22
(11) 資産の有効活用	22

4. 公共施設等の最適な量の考え方	23
(1) 公共建築物	23
(2) インフラ施設	26

第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

1. 施設類型ごとの取り組みの考え方	27
2. 公共建築物	27
(1) コミュニティ施設	27
(2) 学校教育施設	28
(3) 社会教育・文化施設	29
(4) 子育て施設	31
(5) 福祉施設	33
(6) 医療・保健施設	34
(7) スポーツ・レクリエーション施設	35
(8) 住宅等	36
(9) その他市民利用施設	37
(10) 庁舎施設	38
(11) 消防施設	38
(12) 環境衛生施設	39
(13) その他行政系施設	39
(14) 機能廃止予定施設	39
3. インフラ施設	40
(1) 道路	40
(2) 橋梁	40
(3) 農林道	41
(4) 都市公園	41
(5) 河川	42
(6) 漁港	42
(7) 上水道	43
(8) 下水道	43

第5章 計画の推進

1. 実施体制	44
(1) 推進部門	44
(2) 実施部門（公共施設等の所管部署）	45
2. 個別施設計画の策定	46
3. 計画の進行管理	46
(1) 公共施設マネジメント計画の見直し	46
(2) 個別施設計画の見直し	46